



キャッシュフロー改善に向けた新たな チャンスの獲得

会計処理のパフォーマンス向上を実現するためのチェックリスト

Purchase-to-Pay (P2P)、Record-to-Report (R2R)、Order-to-Cash (O2C) の目標達成に向けて、すでに何らかの取り組みを行っているかと思いますが、それらを達成するための根本的な業務の可視化や管理はできていますか？

Digital Intelligenceでは、プロセスディスカバリー、モニタリング、アラートをインテリジェント文書処理 (IDP) と組み合わせています。この組み合わせにより、こうした戦略的目標を達成するうえで基盤となる透明性、管理能力、アジリティ、キャッシュフローを強化することができます。それにより、サービスレベルやカスタマーエクスペリエンスの際立ったKPIの実現が可能となります。

このチェックリストを使って、「最後まで見通す力」、「迅速に行動を起こす力」、「戦略的な意思決定を行う力」という3つの主要エリアにおける現在の能力を評価してください。

業務プロセス上で起きているすべてのことを、どのくらいスムーズに把握できていますか？

	改善が必要	良くてきている
作成、編集、承認、振替、精算、アーカイブといった会計処理における全工程を見据えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
複数のバックエンドシステムで実行される工程まで見通せている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
業務上のキャッシュフローのボトルネックがどこにあるのかを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ステップが省略されたり、繰り返されたり、あるいは完全に抜けている箇所を特定できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内容を掘り下げて、時間、複雑さ、スタッフ、ドキュメントタイプ、その他の属性ごとに事象を確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ユーザーが困っている場所、時間を無駄にしている場所の全体像を把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コスト削減のチャンスを見出し、見逃した割引や期限を発見することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
支払い処理を迅速に進めるための新たな機会を特定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
処理の優先順位を変更することにより、未払い日数、現金割引、期限通りの支払い、請求書あたりのコストなどのKPIがどのように改善されるかを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最高のパフォーマンスを発揮するサプライヤー、製品、または部門を特定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問題やチャンスが発生したとき、どれくらい迅速にそれに対応していますか？

	改善が必要	良くてきている
信頼性の高い確かな情報に基づいたリアルタイムの意思決定を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
不正の兆候を見つけ出し、任意の時点で即座に行動している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現金割引に素早く適時に対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
おかしな購買行動をいち早く察知し、PO（注文書）に進む前に阻止している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コンプライアンス違反やタックスエクスポージャーの発生を防止している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問題解決やチャンス獲得へ向け、適切な人物に通知を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
部署を超えて、ERPシステムやCFOのダッシュボードにまでおよぶ、監査に対応した適切なプロセス機能の記録を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社内外からの問い合わせにきちんと対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

業務を進めるための戦略的意思決定に、どれだけ自信がありますか？

	改善が必要	良くてきている
推測ではなく、信頼できるデータやアラートに基づいて、プロセスの次の展開を予測している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
KPIを向上させるためのプロセスについて、根拠に基づいたアドバイスを受けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
利益に直結する変更を行うために、プロセスの中で最も重要な場所（最も高いコスト、リスク、またはチャンス）を特定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
投資する前に試し、特定のプロセスに変更を加えることが、努力に値するかどうかを確認できている（例：シチズンデベロッパー向けの拡張、電子請求書の作成、セルフサービスポータルの実現など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次のステップ

チェックリストの大半が「改善が必要」で埋められたとしても、失望する必要はありません。インテリジェント文書処理（IDP）の新しいソリューションでは、会計処理のワークフローを可能にする高いレベルの文書品質を得られるだけでなく、タイムリーな情報を活用したり、プロセスの実行やキャッシュフローの改善に向けたアクションを起こしたりすることもできます。信頼性の高いモニタリングとアラートでそれらを微調整することで、さらに優れたユーザーエクスペリエンスを実現し、収益向上のための新たなチャンスを見出し、事業の規模拡大と成長のために業務内容をより戦略的に管理することができます。

会計処理向け ABBYY Digital Intelligence

ABBYYは、会計処理にまつわる文書からすべての情報を得るためのアプローチとプラットフォームを提供しています。

当社のアプローチがあれば、プロセスのどの時点で、なぜキャッシュフローが中断したのかを特定し、問題やチャンスが発生したときに適切な行動をとるためのアラートを受け取ることができます。

abby.com/ja/にアクセスのうえ、詳細をご覧ください。